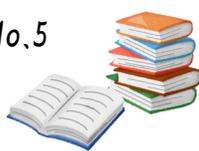




図書だより

No.5



もうすぐ11月となり、寒い冬に突入します。こたつにみかんがおいしい季節ですね。暖かいお部屋でゆっくりと読書はいかがでしょうか？少し過ぎてしまいましたが、10月27日から11月9日は読書週間となっています。中間考査も終了したところで、一度、読書で一息ついてみるのもいいかもしれません。今、話題の本や、ドラマ化や映画化された本など多数取り揃えていますので、この機会にぜひ本を読む習慣をつけましょう。

図書室利用のルール

図書室の利用ルールを改めてお伝えします。図書室の本を借りる際は、必ず手続きを行ってください。勝手に図書室の外に持ち出さないようにしてください。また、読んだ本は必ず元の場所に戻すようにしましょう。

読書の秋



何を読む??

ぼくにはなにもない / 齋藤真行

とくに秀でた才能もない、私は周りよりも劣っている。きっと、周りと比べてそう感じている人も少なくないでしょう。でも、人と比べる必要はあるのでしょうか？ なにもないからこそ見える景色があるのではないのでしょうか。小さなことで幸せを感じることができるのではないのでしょうか。そんな自分を認めてあげよう、そう考えさせられる一冊でした。



噛み合わない会話と、ある過去について / 辻村深月

この小説は4つの話から構成されています。すべての物語で話がかみ合いません。なぜでしょう？記憶は綺麗に塗りかえられるのです。自分が言ったことと相手の受け取り方次第で物語はすべて変わってってしまうのです。自分の行動、言動に責任を持ちましょう。した側は覚えていない・そんなつもりがない、それでも、された側には深い傷として残るのです。



読書を気軽にするポイント



やってみよう!

①1冊読み切らなくていい。

→はじめの1ページだけを読んでみて、次のページをめくりたくなる本でなければそれを読むのをやめましょう。つまらないと思いながら読むのは時間ももったいない！他にもいい本がたくさんあります！

②うすい本でいい。

→ページ数の少ない本や、文字が大きくてイラスト入りの本が読みやすいかもしれません。楽しそうなタイトルや、美しいカバーだからという理由で選ぶのもアリです！



③買わなくてもいい。

→とりあえず図書室や図書館で借りてみましょう。しかも、4~5冊です。結果的にその中の1冊しか読まなかったというのもOKです。そして、自分が本当に気に入った本は後で買って手元に置いておいてもいいですね！

読書は強要されるものではなく、自分が楽しいと思えることが大切です。本を読むことが生活の中で1つの楽しみになるかもしれません。